

# 令和5年度長野県立高等学校入学者選抜

## 伊那北高等学校 理数科 前期選抜

### 【文章①】

(著作権の関係から、引用文は省略します)

### 【文章②】

随筆家、俳人としても有名な物理学者の寺田寅彦<sup>※</sup>が残した言葉の中に「疑うがゆえに知り、知るがゆえに疑う」があります。この言葉は、目の前にあることを当たり前であるという考えではそこに新たな発見は無い。疑うからこそ、そこに新たな学びがあり、疑うということは学びの上で重要なものであるということを教えてくれています。

※読み方： 【文章I】内の漢字の読み 寺田寅彦・・・てらだとらひこ

上の【文章①】と【文章②】とを踏まえ、あなた自身やあなたの周りの人が「当たり前」だと思っていたことを疑って行動した事例を示し、そこから学んだことを今後の自然科学の学習にどのように活かしていきたいか、あなたの考えを600字以上800字以内で述べなさい。

### 【作文の趣旨】

文章に書かれた筆者の考えを正しく読み取り、自身の経験を踏まえて、今後の自然科学の学習にどのように取り組んでいきたいかを記述させる。

【評価の観点】(1)想像力・発想力、(2)理解力・表現力、(3)思考力・論理性、(4)感受性

- ・文章を適切に読み取れているか。(2)
- ・文章①および文章②を踏まえ、自身の経験を具体的かつ伝わりやすく述べているか。(2)(4)
- ・今後の自然科学の学習にどのように活かしていきたいかが表現されているか。(1)(2)(3)
- ・文章の決まりを守り、文構成を考えて書かれているか。(2)(3)